

今年の作業風景(1月11日)



品化を目指します。

う会が自主的に生まれました。佐藤さんの技術を伝承する意味もありですが、みんな楽しんで干し餅を作るのが目的です。でも、やるからには真剣に特産

干し餅の由来

初花は、「梅の花」を指すことが多く、初花月は、いつも美しく、みずみずしさを失わない女性という意味を持ち、2月の季語に使用される言葉です。干し餅も寒い冬でなければ作れず、また、形状が三日月に似ていることから付けた名前です。初花月の特産品化によって、冬が待ち遠しくなるかもしれませんね。

初花月を大葛の特産品に。「初花月の会」期待您的来い！(アメッコ市にも出店します)



大葛温泉の素

何を隠そう温泉好きの私。温泉に釣られて赴任したと言っても過言ではありません(笑)。大葛温泉町民浴場は私も常連で、地区の人だけではなく、鹿角市から



未来ヴィジョンにも掲げた温泉の活用や地域情報の発信につなげられるものと考え「温泉の素を作ろう」と話を出したのが、ちょうど1年前の2月のことでした。

しかし、その行程は順調とはいかず、商品選びとパッケージ作りに難航し、何度も地域で話し合いました。発売されなかった試作品も2種類、パッケージも10種類以上作成し微調整して、ようやく23年7月24日の大葛温泉まつりで大葛温泉の素が発売されました！

お湯の温度

比内のとつと館と観光物産プラザで、1袋100円にて販売中。また、ネット販売のみ、10回分700円で販売。大葛温泉のPRのためにと地域の話し合いで決まったこの安さ！

お湯の温度

は、42℃くらいがお勧めです。大葛温泉の気分をご家庭でどうぞ♪

大葛温泉の気分をご家庭でどうぞ♪



大谷七夕

大葛地区の大谷で毎年8月に行われていた行事が「大谷七夕」。戦前から行われていたのですが、いつから始まったのかは定かではないとのこととです。



この行事は、豊年満作を願って行われていて、昔は各家々で灯籠を作り、子どもたちはそれに好きな絵を描き、自慢の絵を披露し合っていたそうです。今でも地区の皆さんが集まって「わいわい、がやがや」しながら楽しく作業をしていますよ！

私も灯籠作りのお手伝い。皆さんと話をしながらの作業とおいしいご飯に誘われ(笑)、毎週土曜日に行われる作業が本当に楽しかったです。

去年は、灯籠に大葛小学校の思い出を子どもたちに描いてもらいました。この灯籠は、形あ



灯籠の紙貼り作業

る限り使われ続けるそうです。

また、地域おこし協力隊の縁で、徳島県勝浦町の東日本震災復興イベントで使用されたメッセージ付きの竹灯籠約350個を譲っていただき、七夕当日、全てに明かりを灯しました。徳島県の方々の「被災地により近い場所ですってほしい」という思いから贈られたもので、皆さんの温かさを感じました。

豊年満作、子供の成長、震災復興という三つの願いが込められた大谷七夕となり、七夕の情景、太鼓の音、とても心に残ったイベントでした。



勝浦の皆さんありがとう！



お祭り後の切なさと言ったら…(涙)今年も楽しみです♪